

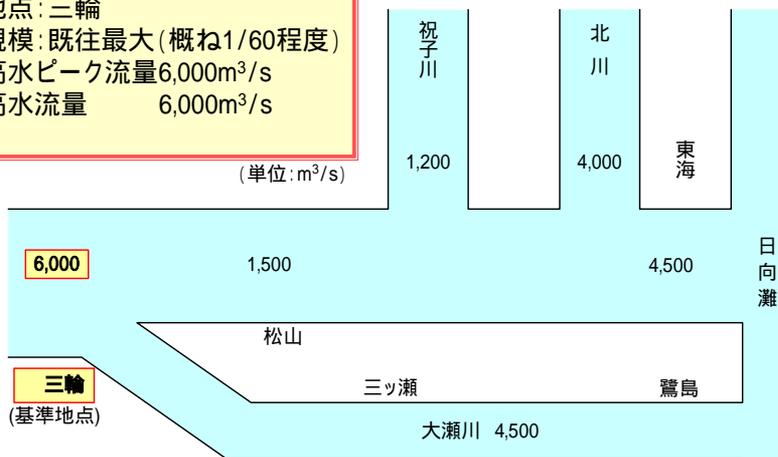
# 五ヶ瀬川水系 河川整備基本方針流量について

国土交通省 延岡河川国道事務所

## 工事実施基本計画

### 五ヶ瀬川計画高水流量図

工事実施計画(昭和41年策定)  
基準地点:三輪  
計画規模:既往最大(概ね1/60程度)  
基本高水ピーク流量 $6,000\text{m}^3/\text{s}$   
計画高水流量  $6,000\text{m}^3/\text{s}$



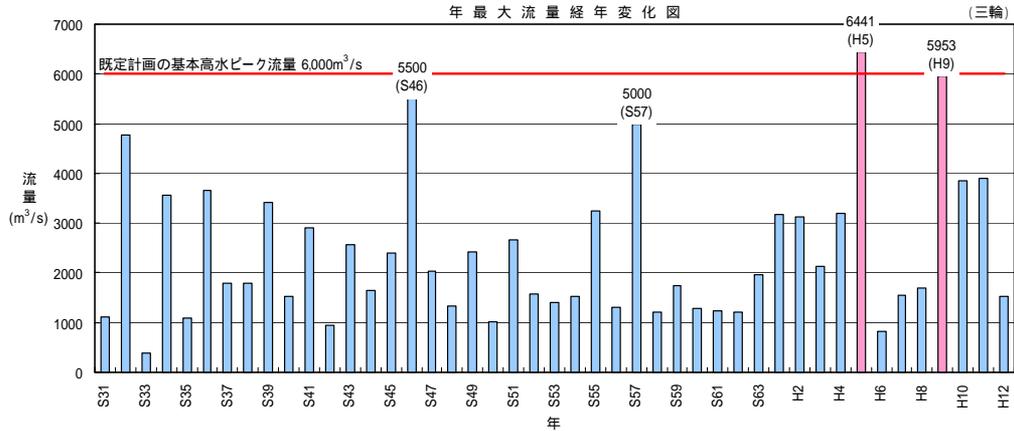
# 既定計画見直しの必要性

・ 近年、既定計画同等もしくは上回る洪水を経験  
 H5年8月 6,441m<sup>3</sup>/s  
 H9年9月 5,953m<sup>3</sup>/s



・ 既定計画の治水安全度を現時点で評価すると概ねW=1/30と他の一級水系と比較して低い

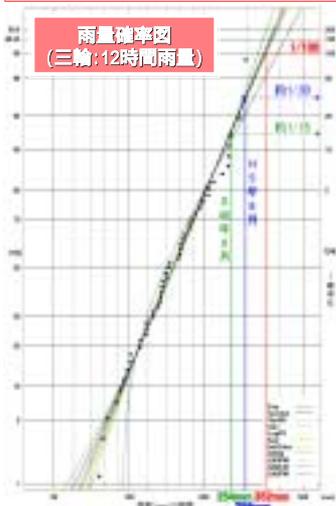
**流量改訂が必要**



# 計画降雨量の設定 (雨量確率手法)

**治水安全度:** 河川の重要度、他の一級水系と比較し、**W=1/100**とする  
**計画降雨量:** 352mm/12時間 (W=1/100: 三輪地点上流域雨量)  
**計画降雨パターン:** 過去の洪水で雨量、流量が大きい洪水を代表洪水(14洪水)として抽出  
 代表洪水別に12時間雨量が352mmとなる仮定の降雨 (= 計画降雨)を設定

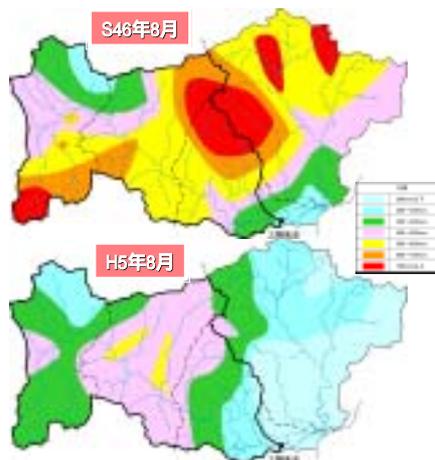
雨量確率図  
(三輪:12時間雨量)



代表洪水

No.	洪水
1	S 29年 9月
2	S 30年 9月
3	S 32年 8月
4	S 32年 9月
5	S 36年 9月
6	S 36年 10月
7	S 39年 9月
8	S 46年 8月
9	S 57年 8月
10	H 5年 8月
11	H 5年 9月
12	H 9年 9月
13	H 10年 10月
14	H 11年 7月

等雨量線図 (総雨量)

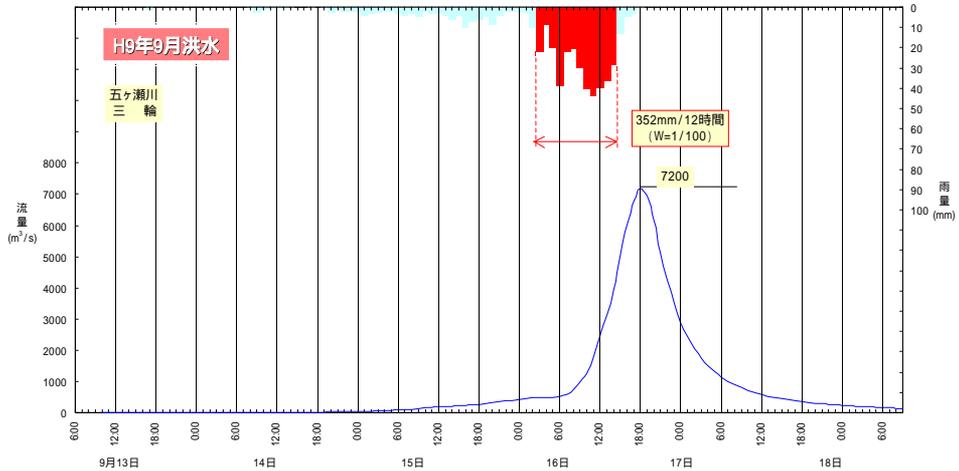


## 基本高水ピーク流量(雨量確率手法)

・ W=1/100の計画降雨(352mm/12時間)より洪水別に三輪地点流量を算定。



・ 雨量確率手法による基本高水ピーク流量は、**7,200m<sup>3</sup>/s**となる。  
(降雨パターンはH9年9月洪水)



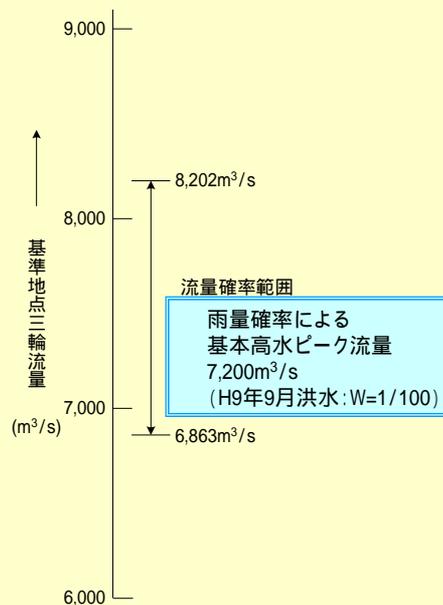
## 基本高水ピーク流量(流量確率手法によるチェック)

三輪地点確率流量  
(年最大実績流量:S31~H13年)

確率規模	W=1/100
流量確率範囲	6,863 ~ 8,202m <sup>3</sup> /s

・ 基準地点(三輪)で年最大実績流量(S31~H13)を標本として、確率流量を算定。

・ 基本高水ピーク流量7,200m<sup>3</sup>/s(H9年9月洪水:W=1/100)は、**流量確率範囲内**にあることから**妥当**である。

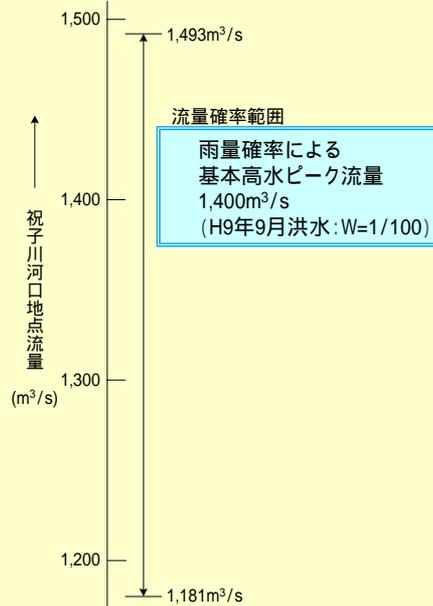


## 基本高水ピーク流量(祝子川)

### 祝子川河口地点確率流量 (年最大流量:S31~H13年)

確率規模	W=1/100
流量確率範囲	1,181 ~ 1,493m <sup>3</sup> /s

- 祝子川河口地点で年最大流量 (S31 ~ H13) を標本として、確率流量を算定。
- 基本高水ピーク流量1,400m<sup>3</sup>/s (H9年9月洪水: W=1/100) は、**流量確率範囲内**にあることから妥当である。

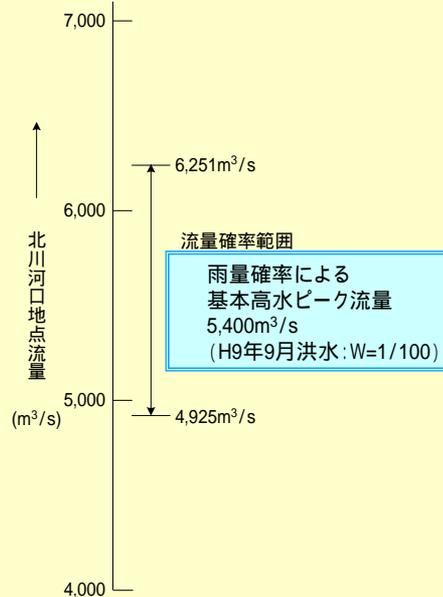


## 基本高水ピーク流量(北川)

### 北川河口地点確率流量 (年最大流量:S31~H13年)

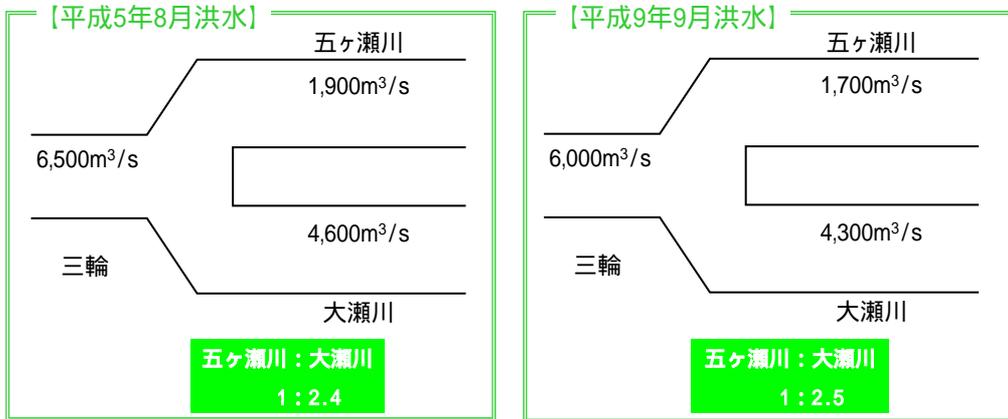
確率規模	W=1/100
流量確率範囲	4,925 ~ 6,251m <sup>3</sup> /s

- 北川河口地点で年最大流量 (S31 ~ H13) を標本として、確率流量を算定。
- 基本高水ピーク流量5,400m<sup>3</sup>/s (H9年9月洪水: W=1/100) は、**流量確率範囲内**にあることから妥当である。



# 五ヶ瀬川・大瀬川の分流量について

## 現 状



現状での概ねの分流量は・・・

五ヶ瀬川 : 大瀬川  
1 : 2.5

# 五ヶ瀬川・大瀬川の分流量について

河床の維持及び現況における自然環境、水利用を考慮し、分流後の目標流量を設定

整備方針流量  
三輪7,200m<sup>3</sup>/s

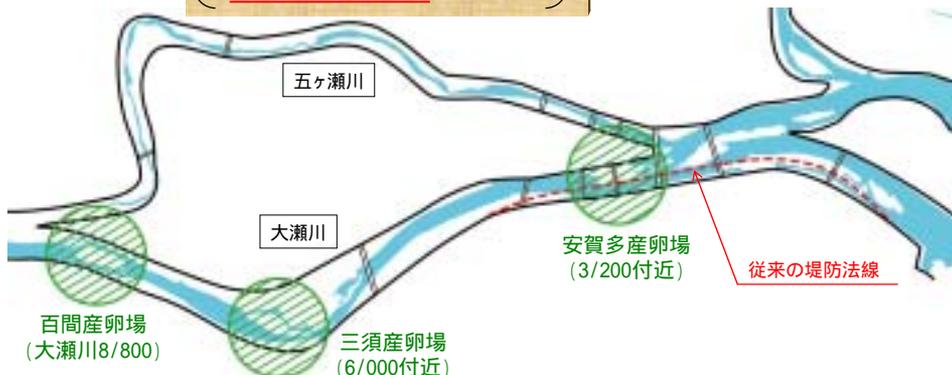
五ヶ瀬川: 2,600m<sup>3</sup>/s

大瀬川: 4,600m<sup>3</sup>/s

- ・S30～S48にかけて引堤により河積確保しており、さらなる引堤は困難
- ・重要な観光の資源となっている、アユの産卵場の保全

整備方針での概ねの分流量は・・・

五ヶ瀬川 : 大瀬川  
1 : 1.8



# 河川整備基本方針

## 五ヶ瀬川計画高水流量図

河川整備基本方針(平成16年1月策定)  
基準地点:三輪  
計画規模:1/100  
基本高水ピーク流量7,200m<sup>3</sup>/s  
計画高水流量 7,200m<sup>3</sup>/s

(単位:m<sup>3</sup>/s)

